

研究協力についての説明書
人工内耳を装着している就労者版
(研究説明書)

研究課題名：COVID-19 流行下における聴覚障害者の ICT 利活用の実態調査

1. 調査の背景・目的

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大によって、マスク着用により口元を読めない場面が多くなり、人工内耳装着者の皆さまにとっては、職場でのコミュニケーションが難しくなっていると思われます。また、急激にデジタル化が進み、遠隔会議システムなどの ICT (情報とコミュニケーションに関する技術：Eメール、Zoom や LINE などのオンライン通話や、Slack、インターネット上のアプリなど) を用いたコミュニケーションも普及しました。こうした変化は皆さまの社会生活にどのような影響を及ぼしているのでしょうか。

本研究では、昨年春からの感染症拡大下での人工内耳装着者の困りごとと、ICT の利用の状況を把握すること、どのように ICT をうまく活用できるのかの好事例の収集を目的としています。

今回ご参加いただく調査は、新型コロナウイルス感染症拡大下における就労している人工内耳装着者の ICT 利用の実態と、情報のニーズ調査です。多くの方が同じ困りごとを経験しているのか、今後 ICT を活用したどんな支援が求められているのかについて伺います。

この研究は、国立障害者リハビリテーションセンター研究倫理審査委員会にて、その科学性・倫理性に関して審議され、承認を受け、国立障害者リハビリテーションセンター総長の許可を受けて実施するものです。

2. 調査対象者：本研究では、下記の条件をすべて満たしている方を対象としています。

- ・ 18 歳以上の方
- ・ 聴覚障害を有し人工内耳を装着している方
- ・ 成人以前からの聴覚障害である方
- ・ 現在、就労されている方

以上の条件を満たし、静岡県立総合病院、滋賀県立小児保健医療センターよりコードを発行された方のご協力をお願いしております。

3. 調査回答方法

本研究では、参加への同意ボタンによる確認と、回答の送信をもって、研究参加への同意が得られたものとします。20 歳未満の方は、保護者の同意 (代諾) を得た上で記入してください。説明の内容に不明な点があれば、研究実施者まで、遠慮なくご質問ください。

なお、手話での自由記述回答欄 (別途、回答時に説明文書を提示します) 以外は、本サイトにて個人情報には取り扱いませんので、個人の特定につながる内容 (氏名、住所、電話番号、生年月日など) を記入しないようご注意ください。

研究期間は、2024 年 3 月 31 日までです。

4. 研究協力依頼内容：

- ・ 質問への回答は 30 分程度です
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大下における就労上の困りごと、最近の ICT (情報通信とコミュニケーションの技術) について選択肢等を選ぶかたちで回答いただいた上で、そのほかにご意見や現在の困っている状況、ICT の活用事例などを自由に記述していただきます。
- ・ 自由記述欄について、記入することがらが思いつかない時には、無理に記入する必要はありません。

- ・ 参加は自由であり、身体的・精神的に疲れた場合にはいつでも参加を取りやめていただくことが出来ます。その場合は回答の記録が残ることはなく、いかなる不利益を受けることはありません。
- ・ 「同意ボタン」による確認に加えて、回答結果の「送信」をもって、調査研究への同意をしていただけのことといたします。(手話動画の送信については別途定めます)

5. 個人情報の取り扱いと保管・廃棄の方法

回答は、静岡県立総合病院、滋賀県立小児保健医療センターのカルテ情報を対応関係のある匿名化をしたうえで、集計時に紐付けられます。年齢、性別、失聴年齢、裸耳聴力、人工内耳術時年齢、人工内耳装用時の最高語音明瞭度はデータを取得した研究機関で保有し、当研究プロジェクトの研究開発分担者 金沢佑治（静岡県立総合病院 頭頸部・耳鼻咽喉科 医長）と中井麻佐子（滋賀県立小児保健医療センター 耳鼻咽喉科・副部長）のみが扱います。

作成した資料は、研究結果の最終公表後 10 年間、静岡県立病院の担当者（金沢）が施錠して管理します。保存期間終了後は、データを入力した電子媒体（ハードディスク）は物理的に破壊します。研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される形では公表しません。

自由回答を手話動画で送信される場合は別途個人情報の取り扱いを定めます。投稿欄の横に説明文書がありますので改めて同意をいただきます。手話動画でご回答いただいたデータは国立障害者リハビリテーションセンター研究所にて書記日本語に変換し匿名化したのち、静岡県立総合病院と滋賀県立小児保健医療センターで回答と紐付けて分析・保存します。

回答結果の分析ののちに、学会や学術雑誌への発表を行い、匿名のデータは、ホームページなどで広く公表します。なお、自由記述に際しては、自身や関係者の個人情報（実名・住所・連絡先など）を記入しないようにお願いします。個人情報に相当する記述があった場合には、ただちに削除させていただきます。

6. 当該研究の資金源、起こりうる利害の衝突（研究結果に関する特許権の利害等も含む。）及び研究者等の関連組織（研究者の属する実施機関、研究班等）とその関わり：

この研究は国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業「COVID-19 流行下における聴覚障害者の ICT 利活用の実態調査及びその成功例をもとにした情報提供資材の開発」（研究代表者 幕内 充）により行います。この他に、特定の団体からの資金提供は受けておりませんので、研究組織全体に関して起こりうる利益相反はありません。当センターにおける利益相反の管理は、国立障害者リハビリテーションセンター利益相反委員会が行っていますので、詳細をお知りになりたい場合は、担当者までお問い合わせください。

7. 当該研究に参加することにより期待される利益、起こりうる危険及び必然的に伴う不快な状態並びにその対応：

今回の調査に参加することによる直接的な利益はありませんが、本調査により、感染症拡大下での聴覚障害者の状況を把握することで、将来的な支援手法・対処方法の開発に貢献できる可能性があります。

このアンケートに回答することで、困難だったことを思い出してつらい気持ちになることがあるかもしれません。もし、不安を感じたり、気分が悪くなったりするようでしたら、我慢せずに速やかに中断してください。また、疲れを感じるかもしれません。適宜休憩をはさみ、記入してください。記入途中で中止いただいても差し支えありませんし、それによりいかなる不利益を受けることもありません。

8. 研究に関する相談等への対応と個人情報の取扱に関するお問い合わせ先：

- ・ この研究についてのご意見、ご質問、ご相談等に関しては下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
- ・ 本アンケート調査では個人情報の取り扱いはいたしません。質問・問合せ・ご意見がある場合は、下記までお申し出下さい。

9. 同意及びその撤回、協力中止

- ・ 本研究では、同意ボタンによる確認と回答の送信をもって、参加への同意をしていただけたことといたします。
- ・ 研究に参加することに同意しなくてもなんら不利益をうけることはありません。また一旦参加する

ことに同意した場合でも、その同意は撤回することができ、記入中でも自由に取りやめることが可能です。

- 一度同意された場合でも、いつでも撤回することができます。その場合はコードを発行した静岡県立総合病院の金沢佑治、滋賀県立小児保健医療センターの中井麻佐子に口頭または文書でお知らせください。別紙「同意撤回書」への署名をもって撤回となります。あなたの資料や情報は全て廃棄されます。
- 同意されなかったり、同意を撤回されたり、協力を中止してもそれによって不利益になることは決してありません。
- ただし、結果の公表後は同意の撤回はできません。

10. その他の確認事項

- 研究内容についての質問・問い合わせ・ご意見がある場合は下記の研究責任者までお申し出ください。他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を提供いたします。

〈問い合わせ連絡先〉

地方独立病勢法人静岡県立病院機構静岡県立総合病院
頭頸部耳鼻咽喉科 医長 金沢佑治
〒420-8527 静岡県静岡市葵区北安東四丁目 27 番 1 号
TEL : 054-247-6111
FAX : 054-247-6140

滋賀県立小児保健医療センター 耳鼻咽喉科 副部長 中井麻佐子
〒524-0022 滋賀県守山市守山 5 丁目 7-30
TEL : 077-582-6200
FAX : 077-582-6304

〈個人情報に関する苦情の申し立て先〉

国立障害者リハビリテーションセンター
企画・情報部
〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4 丁目 1 番地
電話番号 04-2995-3100 (内線 2140)
メール : kikakurinri@mhlw.go.jp
企画課長 : 佐々木薫

〈研究代表責任者〉

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 脳機能系障害研究部 高次脳機能障害研究室長
幕内充